



No. 83 (令和7-1)
発行：磐清水自治協議会
事務所：磐清水市民センター内
令和7年4月24日

安楽寺で観梅会 今年も賑やかに



濁沼の菅秀才史跡周辺保存会と安楽寺が主催する「観梅会」と「天神まつり」が4月13日(日)に安楽寺周辺で開催されました。春のひとときを梅を観ながら楽しんでもらおうと毎年開催しており、開会行事では菊地一久保存会会長が「今年で10回目、満開の梅を観ながら楽しんでほしい」と挨拶。

観梅会では、テントでビールやつまみ類、梅干しなどが販売されたほか、いちのせきミュージックフェスティバルとして本堂でジャズオーケストラの演奏やピアノの弾き語りなどが行われました。

天神マルシェは雑貨、パンやコーヒー、お弁当などの販売や「ストレッチポール体験会」「お寺でおゆずり会」なども行われました。曇り空で少し肌寒さを感じる気温でしたが、子供連れなど多くの方が訪れ、この日に合わせたように満開になった紅白の梅を観ながらまつりを楽しんでいました。

寺沢地区(旧6区)で懇親会

寺沢地区(旧6区)では、3月15日(土)に千厩町内の三嶋温泉で懇親会を行いました。

当日は17人が参加し、美味しい御膳を前にいろいろ話が弾みます。

会場にある衣装を着て、久しぶりにみんなでカラオケで歌ったり踊ったり、とても盛り上がりました。「やっぱりこうやって集まって交流するのは楽しいし、いろいろ知る事にもつながるから、またやりたいね」との声が多く聞かれました。



寺沢長生会 総会

寺沢長生会では、千厩老人福祉センターの利用日である4月11日(金)に総会を行いました。

当日は25人が参加し、30分ほどの体操で体をほくしてから総会となりました。はじめに6年度中に亡くなった物故会員3名に黙祷を捧げました。

その後、議事は順調に進み、役員改選も大幅な変更はなく、無事終了しました。用意された昼食はそれぞれ持ち帰りました。



寺沢地区 水路掃除



寺沢地区では、千厩町寺沢集落協定の事業として、今年の農作業のスタートとなる水路掃除を行いました。

9地区の各推進員さんの声掛けにより、日程を調整しながらそれぞれの圃場の水路での作業が実施されます。

農作業に大切な水場の清掃を行なう事で、今年も始まるなど実感したのではないのでしょうか。農作業事故や怪我等をせず収穫を迎えられますように。

仏坂地区 資源回収&河川清掃など行いました

仏坂地区では4月5日(土)に資源回収を行いました。前回の11月2日から約5ヶ月が経過しており、各家庭からは新聞紙や雑誌、アルミ缶等が大量に持ち込まれました。約30軒から集まったみなさんと、きちんと仕分けがされているか確認しながらトラックに積み込みました。

また、4月13日(日)には、地区の河川や道路清掃も行いました。河川清掃は約6人が参加し、川に落ちている枝拾いを、石倉線の道路清掃では、通行の邪魔になる枝おろし、側溝や側溝柵の枯れ葉掃除、一部草刈り等を行いました。



こうして定期的に清掃されていることで、安全に通行出来ることを実感します。今の時期、磐清水地区内の道路沿いは水仙が綺麗ですね。



仏坂地区 ふれあいサロン

ふれあいサロンでは4月11日(金)に今年度最初の活動を行いました。9人が集まり、活動予定やどんな作品作りをするかなど話し合いました。

作品作りについて、何人かが作ったり買ったりして持ち寄ったものを見せ合い、どの様につくるのか作品を観察、Youtubeを見て確認したり。

「折り紙で万華鏡」という作品は様々な色の紙を折って貼り合わせて作るのですが、くるくるひっくり返すことができ、本当の万華鏡のようでした。そのあとは「千厩音頭体操」をして終了しました。



折り紙の万華鏡は使用する枚数によって出来上がりの形が何種類もあって、写真の物は48枚使ったものです。8枚、12枚、192枚など色々あるようです。皆さんも作ってみてくださいね。

つさぎのPATCHワークコースター

濁沼女性部 資源回収

濁沼自治会女性部は、4月6日(日)に本年度1回目の資源回収を行いました。にごりぬま会館の資源倉庫には、前回12月の回収以降に集まったアルミの空き缶や紙類、段ボールなどがあふれんばかりに集まっていました。午前9時前には女性部員など15人が集まり、資源倉庫に入っていた物を出して分別を行ったり、新たに持ってくる地区民から新聞などを受け取ったりしながら作業を行いました。女性部では秋頃にも2回目の資源回収を行う予定です。



磐清水探検隊が行く！⑦

江戸の中期、元禄(1688~1703)の頃、下礼田の大和院と名乗る修験者に気立ての良い娘がいた。娘は薄衣の泉田家の女中奉公の身になり、その後側室の所望があったが、断り続け、ついに娘は北上川原で打ち首となった。その亡骸を貰い受け葬り、塚を築いたという。大和院塚と人々は呼び、塚の上に老松があったといわれているが、今は倒伏して無く、無刻の碑1基があるのみである。(標柱背面より)



真新しい真っ白な標柱と樹のコントラストが、この時季ならではの美しさ。

この山道を登っていくと、塚があるとの事。結構急で熊の心配もあったので断念しました。今度、どなたか一緒に行きましょう！



大和院塚